

## リニアテクノロジー、新製品「LTM2882」を販売開始

絶縁型電源を内蔵したデュアル絶縁型 RS232  $\mu$ Module トランシーバ

2010年1月12日 - 高性能アナログ IC のリーディングカンパニーであるリニアテクノロジーは、大きなグラウンド間電位差や同相過渡電圧に対する耐性を備えた、2チャンネル絶縁型 RS232  $\mu$ Module<sup>®</sup> トランシーバ「LTM2882」の販売を開始しました。LTM2882 は、3.3V と 5V の入力電源電圧をサポートする 2 つのバージョンで提供され、高さの低い 11.25 x 15mm x 2.8mm 表面実装 LGA および BGA パッケージで供給されます。すべての集積回路と受動部品がこのリニアテクノロジーの RoHS 準拠  $\mu$ Module パッケージに收容されており、1,000 個時の参考単価は 843 円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細は、[www.linear-tech.co.jp](http://www.linear-tech.co.jp) をご覧ください。

実際の RS232 システムにおいて、グラウンド電位はノードによる変動が大きく、しばしば許容範囲を超え、通信の遮断やトランシーバの破壊を引き起こす恐れがあります。LTM2882 は、誘導性素子による信号絶縁機能を使用してロジックレベル・インタフェースとライン・トランシーバを絶縁することによってグラウンド・ループを切断するので、同相電圧範囲が大きく広がり、30kV/ $\mu$ s 以上の優れた同相除去比を実現できます。低 EMI の DC-DC コンバータが RS232 レベルをドライブする電源を生成し、あらゆる外付けのサポート部品に電力を供給する、追加の絶縁型 5V 電源出力を提供します。LTM2882 は 2,500V<sub>RMS</sub> のガルバニック絶縁、補助電源、2 個の RS232 完全準拠トランスミッタおよびレシーバを搭載し、外付け部品が不要なので、絶縁型シリアル・データ通信向けの完全で小型の  $\mu$ Module ソリューションを提供します。

LTM2882 は、グラウンド・ループの切断や大きな同相電圧での動作を必要とする、産業用通信やテスト/測定機器などの幅広い RS232 アプリケーションに適しています。±10kV ESD 保護トランシーバは、最大 1Mbps で動作し、ディスエーブル時のシャットダウン電流はわずか 30 $\mu$ A です。2 個のドライバは、絶縁された汎用の補助デジタル・チャンネルを使用して 2 $\mu$ s 以内にイネーブルおよびディスエーブル可能で、±15V の絶対最大範囲内のどのような電圧への短絡からも保護されています。また、これと対のレシーバは±25V の絶対最大範囲内の同相電圧から保護されています。LTM2882 は、ヨーロッパ規格 EN 550024 に従って RF および磁界耐性試験の要件を満たしています。自己給電型の LTM2882 は多くの予防措置を備えており、RS232 システムにおいて安全で信頼できる通信を保証します。

### LTM2882 の特長:

- 絶縁  $\mu$ Module 技術
- 絶縁型 RS232 トランシーバ: 2500V<sub>RMS</sub>
- 絶縁型 DC/DC コンバータを内蔵: 1W、効率 65%
- 外付け部品が不要
- 1.62V~5.5V のロジック電源により、柔軟なデジタル・インタフェースが可能
- 高速動作  
250pF/3k $\Omega$  の負荷で 1Mbps

1nF/3k $\Omega$ の負荷で 250kbps

2.5nF/3k $\Omega$ の TIA/EIA-232-F 負荷で 100kbps

- 3.3V (LTM2882-3) または 5V (LTM2882-5) 動作
- 絶縁型 RS232 インタフェースに対する、あるいは絶縁バリアを介した最大 $\pm 10$ kV の ESD(人体モデル)による損傷やラッチアップなし
- 優れた同相過渡電圧耐性: 30kV/ $\mu$ s
- 同相動作電圧: 560V<sub>PEAK</sub>
- 真の RS232 準拠出力レベル
- 高さの低い(15mm  $\times$  11.25mm  $\times$  2.8mm) 表面実装 LGA および BGA パッケージ

フォトキャプション: 電源内蔵 2.5kV デュアル絶縁型 RS232 トランシーバ

Copyright: 2010 Linear Technology Corporation

###

### リニアテクノロジーについて

リニアテクノロジー(Linear Technology Corporation, Nasdaq: LLTC、本社: カリフォルニア州ミルピタス)は 1981 年の設立以来、高性能アンプ、コンパレータ、電圧リファレンス、モノリシック・フィルタ、リニア・レギュレータ、DC/DC コンバータ、バッテリー・チャージャー、データ・コンバータ、コミュニケーション・インターフェース IC、高周波信号コンディショニング IC、 $\mu$  Module など、多岐にわたる高性能アナログ半導体を提供しています。リニアテクノロジーの高性能アナログ半導体は通信、携帯電話、各種ネットワーク製品、コンピュータ、コンピュータ周辺機器、ビデオ/マルチメディア、産業計測、セキュリティをはじめ、デジタルカメラ、MP3 プレーヤー、医療、自動車向け電子部品、FA、プロセス制御、軍需・防衛に至る、あらゆる分野で使用されています。リニアテクノロジーは 1986 年に株式公開、2000 年には S & P500 企業に選ばれています。

LT, LTC, LTM,  $\mu$  Module 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

### メディアの方お問い合わせ先:

リニアテクノロジー株式会社 マーケティング部 舟崎 (ふなさき)  
TEL: 03-5226-7291 (代表) yfunasaki@linear.com

### ミアキス・アソシエイツ 河西 (かさい)

TEL: 0422-47-5319 Email: linear-pr@miacis.com

### 記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 秀和紀尾井町パークビル 8F  
リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291 (代表) www.linear-tech.co.jp

### 本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications  
jhamburger@linear.com  
408-432-1900 ext 2419

### Doug Dickinson, Media Relations Manager

ddickinson@linear.com  
408-432-1900 ext 2233

以上